

未来へつなぐ 東近江市

第13回

市民と議会の意見交換会

10月17日、ショッピングプラザアピア4階のアピアホールで、第13回「市民と議会の意見交換会」を開催し、約60人の皆さんにご参加いただきました。この会は、議会の活動や取り組みを市民の皆さんにお知らせするとともに、市政に対するご意見や日頃感じていることなどを直接伺うために開催しています。

第1部では、3つの委員会から市議会の取り組みを報告しました。第2部では、ワールドカフェ方式を取り入れた意見交換会を行いました。参加者と議員が各テーブルに分かれ、お茶を飲みながら、身近なまちの課題やこれからの東近江市について、和やかな雰囲気の中で意見を交わしました。





今回は「未来へつなぐ東近江市」を全体テーマに、総務常任委員会は「防災の観点から見た東近江市の未来」、福祉教育こども常任委員会は「子育てしやすいまちにするには？」、産業建設常任委員会は「オーガニックビレッジ宣言に期待すること」をテーマとして、市民の皆さんとともに東近江市の未来について語り合いました。

防災の観点から見た東近江市の未来

総務常任委員会

- 自治会の加入者や役員の担い手が減少する中、災害時に誰が地域を支えるのか。自治会ごとに防災組織や備蓄、避難支援体制を把握し、課題を見える化しては。
- サラリーマンが増えている今、消防団組織を見直す必要がある。特定の役割に限った参加など、幅広い世代が参加しやすい仕組みを具体的に検討しては。
- 自治会や消防団だけに負担を集中させず、行政と地域の役割や支援内容を明確にし、互いに支え合う体制が必要では。
- 避難所の立地条件、空調の有無、備蓄用品、初期消火設備を見直し、災害の種類や避難者の状況に応じて、誰もが安全・快適に過ごせる環境を整えてほしい。
- 高齢者や障害のある人など、避難に支援が必要な人を地域でどう支えるか。女性のプライバシーを尊重した避難所運営を平時から決めておく必要がある。
- 避難所を整えるだけでなく、ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）などを活用し、住民自身が考え、行動できる実践的な訓練を増やしては。

子育てしやすいまちにするには？

福祉教育こども常任委員会

- 地域の子育て力が弱くなる中、子育てを親だけに任せず、地域と行政が一体となって子どもを育て、見守る仕組みが必要ではないか。
- 子育て世帯が孤立しないよう、親同士の交流の場やファミリーサポートセンターなどの支援体制を充実させ、必要な子育て情報が届くようにしてほしい。
- 発達支援や特別な才能を持つ子ども（ギフテッド）への教育など、一人一人の個性や特性に応じた支援を充実させ、誰もが大切にされる教育環境を整えてほしい。
- 子育てや教育への予算を確保し、教員不足への対応を進めるとともに、部活動をはじめとするスポーツや文化活動など、子どもたちの多様な体験機会を確保してほしい。
- 小中学校の体育館や武道場へのエアコン設置を早めてほしい。また、通学路の除雪や公園の安全対策など、子どもが安心して過ごせる環境を整えてほしい。
- 市役所の開庁時間短縮に伴い、ハピネスなど子育て支援施設の開庁時間も短くなり、不便を感じている。子育て世帯に配慮してほしい。

オーガニックビレッジ宣言に期待すること

産業建設常任委員会

- 子どもに安心して食べさせられるものを作ることに大賛成。地元の食材を無農薬で給食に出してほしい。健康寿命延伸にも有効。
- 量より質を問われる時代に誇りをもって農業に取り組みたい。無農薬の安心でおいしいお米なら付加価値が付き、高値でも買い手がつく。儲かる農業も夢ではない。
- 推奨されている大規模スマート農業と両立できるのかは疑問。やはり大量生産で安価なお米を求められるのでは？オーガニックだけに頼るのは心配。
- 担い手不足の時代に手間のかかる無農薬栽培が可能か？農福連携など異業種・異分野との連携で新しい担い手が獲得できないか。相談しあえる仲間がいると心強い。
- とにかく市民にその想いと価値を知ってもらうことが大切。行政視察に他市から来てもらうくらいの取り組みに育てることが大事。
- 生物多様性など、自然を守る観点からも農業は大切。保水能力、治水機能としても大事なので応援したい。みんなでお米を食べましょう。

参加者アンケートより（一部抜粋）

- 前々回参加して有意義だったので参加。今後も続けてほしい
- ２５年ほど住んでいて初めて知り参加。要宣伝！
- 市民や議員と話をする機会はそんなに無いのでためになって楽しかった
- 普段から議論の場を設けてほしい
- １ローテーション１５分では短い
- 他の人の意見が聞けて良かった。付箋に書くのは残るし良い
- 山の廃れ、田畑の今後はオーガニックビレッジ宣言に期待
- 市長の批判の場ではない。ホストが制止するべき
- テーマが決まっていたため話したかったことが言えなかった